

愛知県立加茂丘高等学校で防災講座を行いました

令和7年5月23日（金）、豊田市の愛知県立加茂丘高等学校で2年生6名に防災講座を行いました。学校は旧藤岡村にあり、昭和47年7月豪雨では、死者・行方不明者22名という甚大な被害に見舞われた地域です。

講座では、豊田市でも被害のあった伊勢湾台風、東海豪雨、昭和47年7月豪雨など過去の水害について学習しました。特に忘れてはならない昭和47年7月豪雨は、河川氾濫や土砂災害の状況と特徴を映像も交えて詳しく学び、住んでいる地域が脆弱であることを理解しました。

VRによる浸水疑似体験では、「より水の怖さがわかった」「ハザードマップなど備えをしておきたいと思った」などの感想があり、早期避難への重要性が伝わっていました。

また、伊勢湾台風A I 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、「避難所ではどんな感じでしたか？」「何が一番こわかったですか？」などと質問し、対話を通して災害への理解を深めました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

